



自然と暮らしの道しるべ

石垣島平久保半島インタープリテーション全体計画

Ishigaki Island Hirakubo Peninsula Interpretation Plan

Ver. 2.0

はじめに

沖縄県石垣島の北東部に伸びる平久保半島には、
石垣島南部のにぎやかな観光地とは異なるゆったりとした空気が流れています。



半島の中央に伸びる山上からは東西の海岸と雄大なサンゴ礁をひとめに眺め、
島を吹き抜ける風を味わうことができます。

山裾には牧場とサトウキビ畑が穏やかに広がります。

夜になればサガリバナが甘い香りを放ち、星空が天の川を描き出します。

5つの集落にはそれぞれの成り立ちがあり、独自の祭りがあります。

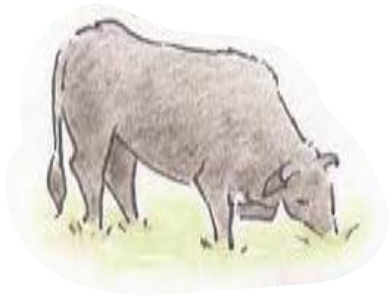
そんな平久保半島の“あたりまえ”は、

他のどこに行っても見つけることができない“特別”です。

この冊子では、各集落でたくさんの方々から伺ったお話を元に、
地域の自然や文化、生業をいくつかのストーリーとしてまとめました。



平久保半島だけの特別な“あたりまえ”をみんなで共有し、
大切に次の世代につないでいく一助となることを願っています。



目次

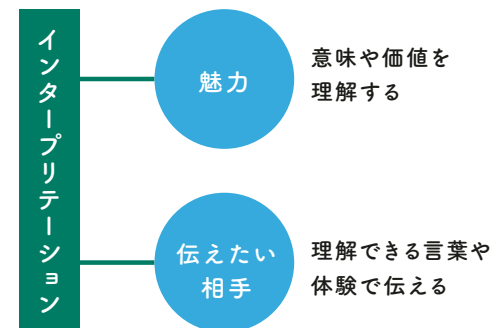
2 はじめに	8 平久保半島で、どのように過ごしたらよいのだろうか？
3 目次	9 私たちは、誰に何を伝えればよいのだろうか？
4 平久保半島について	10 平久保半島 自然と暮らしのストーリー
6 暮らしと文化のキーワード	32 マイクロヒストリー あの日の平久保半島
7 自然のキーワード	38 もっと知りたい方へ

インタープリテーション全体計画とは

この冊子のサブタイトルは「石垣島平久保半島インタープリテーション全体計画」です。「インタープリテーション」とは、地域に息づくストーリーや魅力、価値を、わかりやすい言葉や体験活動を通して伝える営みです。

来訪者や次世代に効果的に伝えるための方策を、包括的かつ体系的にまとめたものが「インタープリテーション全体計画」です。近年、各地でも作成が進められていますが、石垣島ではすでにホテルや観光事業者グループが独自に計画を作成するなど、先進的な取り組みが進んでいます。

このストーリーブックは、平久保半島の皆さんが地域の魅力を語り、伝える際に活用できることを重視して作成しました。



平久保半島について

東シナ海と太平洋に囲まれた 生命たちが息づく場所

平久保半島は、石垣島北部の自然に囲まれた美しい地域で、豊かな森林と清らかな空気が訪れる人々を魅了しています。

北から平野、平久保、久宇良、

明石、伊原間の5つの集落があります。

畜産やサトウキビ、野菜生産などの農業、

豊かな自然を味わう観光業などが行われています。

生物多様性が豊かな地域でもあり、

陸や海の多くが西表石垣国立公園の保護地域に指定されています。



平久保半島鳥観図

Hirakubo Peninsula - Bird's-eye view



平久保半島 自然と暮らしの道しるべ

石垣島平久保半島インタープリテーション全体計画

策定 環境省沖縄奄美自然環境事務所／平久保半島自治協議会

管理 平久保半島自治協議会

協力 明石公民館／伊原間公民館／久宇良公民館／平野公民館／平久保公民館
意見交換会に参加いただいた皆さま
越智 正樹（琉球大学 国際地域創造学部 教授）
西村 仁志（広島修道大学 人間環境学部 教授）
一般社団法人八重山ビジターズビューロー
石垣市 企画部 観光文化課

クリエイティブ
ディレクション 山城 廉太（株式会社18project）

デザイン 仲村 綾莉（株式会社18project）／白浜 汐

イラスト 朝倉 美枝（表紙、地図、ストーリーブック）
崎山 絵里子（はじめに、暮らしと文化のキーワード、自然のキーワード、生きものとの関わり方について）
大堀 健司（鳥観図）／大堀 則子（自然と食）

写真提供 朝倉 美枝（海岸と漂着物）／峰 洋二（サンゴ礁）／伊原間公民館、掘井 太朗（歴史と催事）
久宇良公民館、掘井 太朗（昔の暮らし）／新垣 信成（夜と星空）／大堀 健司（その他）

製作 一般財団法人沖縄県環境科学センター
石垣島アウトフィッターユニオン

本冊子の骨子は、環境省事業「令和6年度石垣島北部地域インタープリテーション計画検討調査業務」で作成しました。
「令和7年度石垣島平久保半島インタープリテーション全体計画の主流化のための調査検討業務」、
「令和7年度石垣島平久保半島インタープリテーション全体計画更新等調査検討業務」の中で得られた情報に基づき内容を更新しました。